

●ガバナー 今井 高志 ●会長 西村 幸也 ●幹事 西尾 和樹 ●コミュニケーション委員長 熊谷 道雄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

f Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

## 八戸 RC・八戸南 RC 合同例会

八戸 RC 第 3098 回例会

八戸南 RC 第 2098 回例会

2019 年 3 月 20 日 (水) 点鐘 12：30

於 八戸グランドホテル レポート No. 1530



八戸 RC 築館会長  
会長要件



八戸南 RC 西村会長  
会長要件



IM お礼  
南 G 久保田ガバナー補佐



ゲストスピーチ  
青山友子さん



### 《会長要件》西村会長

八戸ロータリークラブの皆さん、そして我が八戸南ロータリークラブの皆さん、こんにちは。今日、このような形で、八戸ロータリークラブとの合同例会を持つことができることを、ずっと楽しみにしていました。また、従来の形にこだわらず、新しいアイデアを取り入れたプログラムを組んで下さいました、八戸ロータリークラブの築館会長はじめ会員の皆さんに、八戸南ロータリークラブを代表して敬意を表するとともに、心から感謝申し上げたいと思います。

私が申すまでもありませんが、八戸南ロータリークラブは1975年(昭和50年)に創立され、今年で創立44年を迎えました。創立に際しましては、八戸ロータリークラブの全面的な支援を受け、特に榎山弥太郎特別代表は八戸RCから八戸南RCのチャーターメンバーとして移籍され、八戸南RCの基礎づくりに大きな役割を果たされました。

現在、私たちのクラブは会員数36名、うちチャーターメンバーは一人だけになりましたが、橋本精二会員で、八戸RCの重鎮であられる橋本昭一氏のご兄弟でございます。

本日は、このような合同例会を企画していただき、また、これも初めての試みだと思いますが、座席も両クラブ員が隣り合って歓談できるように斬新なアイデアを盛り込んで下さいました。もとより、両クラブは大変親密な仲でございますが、この機会を多いに生かして、八戸RC、八戸南RCのさらなる交流を深めて頂ければと思います。また、最後になりましたが、本日のゲストスピーチ、青山友子氏のご講演を楽しみにしています。本日は、合同例会を多いに楽しみましょう！

### 《ニコニコボックス》大橋副委員長

西村会長：八戸RCの皆さん、本日は宜しくお願ひ致します。

西尾幹事：八戸RCのみなさま、本日はよろしくお願ひ致します。

久保田会員：IM参加ありがとうございました。

小原会員、長嶺会員、米内会員、小笠原会員、伊藤会員、櫻田会員、吉田立盛会員、吉田賢治会員、橋本修会員：

八戸RCの皆さん、今日はよろしくお願ひいたします。

大橋会員：花粉が飛んでいます、つらい時期になりました。

## 働く人の姿で地域の職を知る ～「カナエルはちのへ」の目指すもの～

2019年3月20日(水)

デーリー東北新聞社

営業局出版部次長 青山友子

### ■「カナエルはちのへ」とは

- ・中高生と地域をつなぐ職育誌。19年2月にデーリー東北新聞社が創刊
- ・八戸圏域に事業所を置く企業や団体から協賛を得て制作・発行
- ・学校を通じて八戸市内の中高生一人ひとりに無償で配布

### ■「カナエルはちのへ」の狙い

- ・地域で働く「人」の思いや日常の姿に触れることで、早いうちから「働くこと」「仕事」に対する自分の考え、興味・関心を深め、将来を考えるうえでのアンテナを張ってもらう。
- ・普段生活する地域に、どういう会社や仕事があるかをまず知ってもらう。中高通じた6年間の配布期間を生かし、地元企業・団体などへの親近感をはぐくみ、認知度の浸透を図る。
- ・こうしたことによって雇用のミスマッチといった課題解決を図り、地域経済を支える地元企業の人材(財)確保を側面から支援する。
- ・地域に根差した新聞社として、時間をかけて中高生と地元企業をつなげる「地域への種まき」事業として位置付ける。

### ■「カナエルはちのへ」創刊の背景

- ・高校生までの生活範囲は狭く、地元のことを知る機会が少ないまま、進学や就職という節目を迎えてしまっているのではないか。
- ・八戸圏域企業の人手不足、青森県内の大学卒業者の多くが県外へ就職する、青森県は新規学卒者における3年以内の離職率が高い——という現状。
- ・中高生の保護者も案外、地元の企業・仕事を知らないことが多い。

### ■「カナエルはちのへ」の活用への期待

- ・中高のキャリア教育授業、職業体験学習の事前・事後のテキストとして活用してほしい。
- ・家庭に持ち帰って保護者と一緒に読んでほしい。
- ・子どもたちには進学等で県外に引っ越す場合も、一緒に持っていき、時々読み返して、就職活動やUターンなどの参考にしてほしい。